



WEBにも掲載しています

大崎第一
地域ニュース



はなぐるま

第158号

2022.04.20 発行

編集 はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL: 3491-2000
saki1c@city.shinagawa.tokyo.jp FAX: 3491-2002
発行元 大崎第一地域センター

五反田の昔 後編

五反田一丁目町会・前会長の伊與田正志さんと、新会長の川野恵三郎さんに伺う五反田の街の移り変わり。風情ある昔の街並みについてお届けした前編に引き続き、後編では街の現在と未来に焦点を当てて語っていただきました。

地域活性化を促す

街づくりが大切

伊與田さん（以下、伊與田）：私は平成10年から23年間、町会長を務めました。川野さんは約20年にわたり副会長をしていますが、昨年の4月に会長を引き継いでくれました。本当に助かっています。

川野さん（以下、川野）：町会は何をしているのかと聞かれますが、活動は多岐にわたります。防犯や防災の活動をしたり、区の行事を知らせたりするので、町会とのつながりがないと区の活動や情報から離れてしまいます。だから、まずは催し物に出てみてほしいですね。

伊與田・雉子神社で歳旦祭、節分、新嘗祭などの行事がある時は、町会の人にもお知らせしています。ほかに町会のお祭りやバス旅行を開催するなどしてきましたが、新しく来た人とはつながりがないので、なかなか参加してもらえません。とても寂しいですね。

昔には戻れませんが、私は日本屋が大好きです。木造だった頃は、「防災訓練をするから集まって」と大きな声で呼び掛けると、上の階から住人が顔を出して返事をしてくれました。時代とともに街が変化するのは仕方ないけれど、ビル街になってからは人間関係がどんどん薄れて、みんなが遠くへ行ってしまっただよっに感じます。

川野：この辺りは開発の話も出ていますが、駅から離れた場所にただビルを建てても人が集まらないですよ。五反田駅東口のロータリー周辺の広場をどう活用するかなどを考え、街全体で考えていかないと五反田の価値は上がらないのではないのでしょうか。

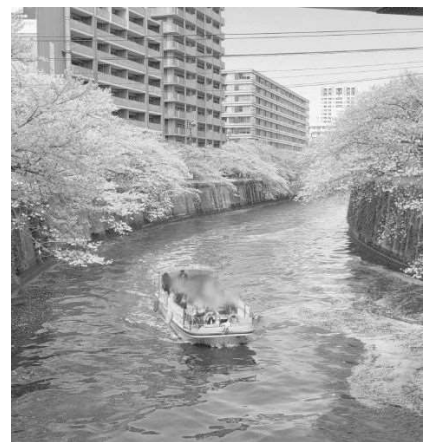
この辺のマンションに住んでいる人の多くは、地元の五反田で買い物せず赤坂や六本木、銀座などへ出てしまいます。だから彼らのニーズを満たすお店を増やし、子どもが遊べる核となるスポットをつくれれば、人が集まってくるのかなと思います。駅前開発の場合、ビルに人を集めて利益を出さなければなりません。地域活性化を促すような街づくりのコンセプトがないと、良い方向へ進めるのは難しいのではないのでしょうか。



種まき



ひまわり



目黒川の桜



船着場

伊與田：とはいえ、目黒川の桜やイルミネーションがメディアで紹介されたり、観光船が発着する船着場ができたりと、五反田もがんばっているなど感じています。五反田フェスティバルなどのイベントを通じて、若い世代が街を盛り上げようと活動しているのも心強いですね。

今後ビルが増えても、駅から少し離れたところに樹木や花があったり、ベンチで休んだり噴水を眺めたりできるような環境にしてほしいです。私は、五反田の将来像は明るいのと思いますよ。

（編集委員 若松）

大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにも SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！



Twitter
@WWjec5ui2p9LyDC



Instagram
@osakidai1



大崎×五反田 Link
OSAKI×GOTANDA LINK

地域共創メディア
【大崎×五反田 LINK】

